



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日 / 1990.2.27
 事務所 / 〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
 TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場 / 新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日 / 毎週火曜日 12:30~13:30
 会長:寺井正昭 幹事:成松重人 会報委員長:田中弘

2012年11月6日 第1066回例会(第1065号)

本日の例会

今週の歌 「君が代・奉仕の理想」

卓話 「ロータリー財団月間に
 因んで」

長島 寛 ロータリー財団委員長

次回例会のお知らせ(11月13日)

卓話 「岩手は半歩歩き出す」

- DVD上映 -

木元良三 会員

前回【10月30日】例会記録

来客

高島 凱夫 君 (RI第2660地区ガバナー)

会長の時間 寺井 会長

今日は、高島凱夫ガバナーの公式訪問日であります。高島ガバナーには大変お忙しい中お越しいただき誠に有難うございます。のちほど、卓話をよろしく願いいたします。

ガバナーもおられますので、やはりロータリーに関する話をさせていただきます。今年の8月ごろのニュースで、アメリカの名門ゴルフクラブのオーガスタ・ナショナル・ゴルフ・クラブが初めて2名の女性会員の入会を認めたと報じられました。いまだにそんなクラブがあったのかと思われる方もおられるでしょうが、ロータリーでも女性の入会に関しては長い歴史があります。1978年にカリフォルニア州のあるクラブが当時女性会員を認めていないクラブの定款に反して、3名の女性会員を受け入れました。これに対し国際ロータリーは同クラブの認証を取り

消しました。ここから訴訟事件に発展し、10年ほどの歳月を経て、ロータリーに正式に女性会員の入会が認められるようになったのは1989年であります。今から23年前であります。当クラブのチャーターメンバーである栢本さんは正にそのはしりであります。その後、女性会員は確実に増え続け、今や世界で約14万人になり、その割合は会員の12%を超えるまでになっております。日本ではその比率は約3%と、全世界の平均から見るとまだ少ないですが、確実に増えてきております。しかし、日本ではまだ女性会員を受け入れていないクラブも現存しております。2年前の資料では男性会員だけのクラブが全体の45%もあります。これからの会員増強には女性会員をターゲットにするのも一つの方策かと思っております。

なおここで、本日は年次総会の1か月まえの例会に当たりますので、次期役員を選考委員の発表をさせていただきます。選考委員は東会員、八橋会員、渡辺会員、水谷会員、庄瀬会員、西山会員そして私の7名です。次回11月13日の例会終了後に選考委員会を開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。

出席報告 北村(康) 委員

【10月30日】
 在籍会員 37名 (内出席規定適用免除者 10名)
 出席会員 29名 (内出席規定適用免除者 8名)
 ホームクラブ出席率 82.86%

10月9日のMUを含む出席率 94.29%

関西大学 R A C 例会出席担当
 Eグループ 成松、寺井両会員
 11月12日(月)
 会場：関西大学千里山キャンパス
 中央体育館 図書資料室
 時間：19:00~20:00

幹事報告

成松 幹事

2012～13年度地区大会 特別講演者変更のお知らせ

大会第2日目日本会議の特別講演は、山中教授からのビデオメッセージの放映と京都大学iPS細胞研究所 副所長の戸口田淳也教授による「iPS細胞研究の現況と未来」の講演に変更となりましたので、お知らせ致します。

ニコニコ箱

高島凱夫ガバナー 公式訪問に際して。

東 会員 高島ガバナーをお迎えして。
延 会員 高島ガバナーをお迎えして。
芳 賀 会員 高島ガバナーをお迎えして。
今 村 会員 高島ガバナーをお迎えして。
長 島 会員 高島ガバナーをお迎えして。
西 山 会員 高島ガバナーをお迎えして。
庄 瀬 会員 高島ガバナーをお迎えして。
田中(茂)会員 高島ガバナーをお迎えして。
寺 井 会員 高島ガバナーをお迎えして。
山 崎 会員 高島ガバナーをお迎えして。
八 橋 会員 高島ガバナーをお迎えして。

本日分 72,000円

累 計 503,000円

米山奨学委員会

水谷 委員長

本日、特別寄付金を3名45,000円いただきました。
ご協力有難うございました。(月間合計32名480,000円)

卓 話

「東日本大震災からの教訓」(10月23日・第1064回)

(株)ニシハタシステム

代表取締役 西 畑 恭 二 様



本日は、『3.11東日本大震災の教訓』～地震対策、企業は想定外に備えよ～と言う事で、お話させていただきます。

先般、石巻に訪問させて頂いたのですが、その被害たるや凄まじく、津波被害で23mの校舎に自動車突き刺さっている状況や5.9mの所まで津波が到達し柱だけを残した企業などを目の当たりにしました。皆様、この悲惨な状況を心に刻んで頂き決して忘れてはならない、その為に企業として今後何の策を行っていくか?と行く事を本日の題目にさせて頂きました。

さて、地震が起こる前にお知らせをして被災を極力少なくする緊急地震速報ですが、もし、南海トラフ地震が発生した場合、大阪での猶予時間はだいたい30～45秒の間で、震度7クラスの恐れがあります。その後に間違いなく津波が来ると言われています。

もし、地震が来るたった2秒前にわかるだけでも、身構える事ができ被害を軽減できます。これが、緊急地震速報の凄い効果です。

私どもは、日本全国で緊急地震速報の販売を行っておりますが、まだまだ普及は進んでいません、最も取り組んでいかなければならない企業でも、大手中堅企業で10%の普及率です。企業の本音として『いつ来るかわからない地震に対して費用がかけられない』。緊急地震速報があった方が良いと思っても設置される優先順位が後の方になってしまうのが現状です。

例えば、住宅用の火災警報器は義務化されていて、みんなの意識はあるがなかなか普及しないのが現実です。

私は『ひとりの力では何もできない』と言う事が十分わかっています。普及する為の解決策として普及活動に皆様のお力をお借りできないでしょうか?と言うのが、今の私の思いであります。

普及するための策として大手飲料メーカーが緊急地震速報の普及活動に対しての取組みに協賛を頂きまして緊急地震速報の無料プランを展開し全国千数百か所に導入をさせて頂いております。

また、全国各地で講演会やセミナーを実施し緊急地震速報の普及に努めております。

私どもの普及活動に是非ともお力を貸して頂けたらと思います。

今後、企業に対しての普及率50%以上を目標に私どもは日々感謝と謙虚の気持ちを持って取り組んでまいります。

卓 話

「クラブ公式訪問にあたって」

(10月30日・第1065回)

国際ロータリー第2660地区

高 島 凱 夫 ガバナー



地区ガバナーになるためには、国内で開催される2回(2011年9月、2011年11月)の「GETS」と米国・サンディエゴで開催される「国際協議会」への参加が義務づけられています。これらの研修は、PETSに会長エレクトの皆様方に出席義務があることと同様です。

サンディエゴ「国際協議会」は2012年1月16日～20日までの間、朝から夕方までガバナーになるべく、研修を受けて参りました。「Rotary Japan」のHP、「ロータリーの友」にも詳細に掲載されましたので、ご覧になった方も大勢いらっしゃると思います。

2012～13年度RI会長は、1968～69年度東ヶ崎潔氏、1982～83年度向笠廣次(むかさひろじ)氏に次ぐ、30年ぶり、3人目の日本人RI会長 田中作次氏(D2770 八潮RC・埼玉県)です。

田中作次RI会長のテーマは「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」です。これは、ただ単に戦争と平和ということではなく、この平和は、一人ひとりが心穏やかに日々を生きていくことを意味し、このことが、ロータリーの究極の目的で、ロータリーにしか出来ない世界平和に通じる道である、と述べています。

ロータリークラブに入会して、ロータリーライフを十分に楽しみ、この組織の将来についてお考えになったことがおありかと思います。ロータリークラブは未来に続くものと信じていますし、皆様方もそう願っていると思います。そのためには、ロータリー

クラブを引き継いでいく「若いロータリアン」の育成に力を注がなくてはならないでしょう。

それに加え、未来の地球平和を維持していく「若い力・若いリーダーを育む」義務がロータリアン、あるいは世の中の先輩である私たちにはあると思います。それを踏まえて、2012～13年度の地区方針を「育もう未来の力を～飛躍～」といたしました。

停滞している現状を脱却するためには、質の高い、ロータリーにふさわしい新しい力を注入する必要性に迫られていることは、皆様方お判りだと思います。さまざまな社会的変化に伴い、ロータリー自身、ロータリアン自身の変化して行く 変わらなくては行けないのです。田中作次RI会長もロータリーの改革を訴えています。今までのロータリーに固執することなく、良いことは率直に認め、受け入れることが「真のロータリアン」であり、ロータリーの発展に貢献する最大のものと思います。

今年度は、次の4つの言葉をKeywordにさせていただきたいと思います。

会員増強・会員維持 会員研修 健全な青少年の育成 平和な社会への貢献

会員増強についてのお願い

現在世界で、120万人のロータリークラブ会員を、2012～15年までに130万人にするのがRIの目標です。

当地区の2012年2月度の会員数は3,710名です。大阪でも全力を尽くして「ロータリアンの素質」を持った会員を増強する努力をしなくてはならないと思います。地区で3,900名、各クラブ6%の純増をお願いいたします。

多分、この6%については、皆様「そんなこと出来ない」と思われる数字だと思いますが、自然退会者を含めた退会者のことを考えると、これでも結果的には、凄く低い数字になってしまうことは、皆様良くお判りだと思います。現在在籍している新しいロータリアンをロータリークラブの次のリーダーとして研修を積んでいただくことは言を俟たないことです。各クラブ「プロジェクト3900」にご参加下さい。

地区でも皆様方の負担金を極力少なくする努力をしていますが、会員が増加することで地区への負担金の減額、強いては各クラブの会費等の減額につながり、会員の増強と良い歯車になると思われま

東日本大震災支援(災害支援)のお願い

Keywordには入れていませんが、震災支援も大き

な責務と考えます。

今年度も地区としては、災害支援を継続して参ります。この支援は、今後何年に及ぶ事業か判りませんが、ロータリーとして継続すべき大きな事業の一つであると考えて下さい。

今年度は支援の額は申し上げませんが、クラブ、あるいは会員お一人おひとりのお考えで、出来る限り最高の額を、地区災害支援基金に是非ご入金下さいますようお願い致します。第2660地区災害支援基金も現在枯渇しています。災害支援プロジェクト委員会は、今後国内外で発生するであろう災害に対しても支援が出来るよう、地区として常設の委員会にしていくようにしたいと願っています。震災の支援につきましても、2年目を迎え、更に細かな「心を見守るような」支援が必要となってくるでしょう。心のケアが大事になってくる時期に入ってくると思われます。地域の社会保険協議会との連携も必要になって行くでしょう。

災害支援プロジェクト委員会には、基金の管理のみならず、この様な新しい展開の取り組み、新たな災害支援へのマニュアル作成などの模索も併せて行っていただきたいと願っています。

現在、各クラブで行っている、東北のロータリークラブやその他の団体との連携は、更に深めて戴きたいと思えます。

震災支援につきましても、各クラブ、個人個人で考えが大きく異なっていることも事実でしょう。

地区大会ご参加のお願い

今年度の地区大会は、2012年12月7日～8日に、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテル大阪で開催いたします。「健全な心と体の育成を～地球の平和

のために～」をテーマに行います。綱領の解釈のお話、iPS細胞の話など、盛りだくさんの話題を取り揃えています。お誘いあわせの上、賑々しく会場にお越し下さい。

結びに

私は「灯心に火を点す」という奉仕活動が大切だと思い、奉仕活動を行なっています。お互いのニーズがかみ合わないときは、そっと火を離し、心が通うまでじっと待つことも必要な時もあります。一度ともった灯が、明るく周囲を照らし、奉仕をする人も「して良かった」、奉仕を受ける人も「それを受けて幸せだ」と思う奉仕事業が大切だと思います。その奉仕を実行、持続するためには、ロータリアンにふさわしい若い力が必要なのです。

地区にとって、前向きで建設的なご意見は、出来る限り取り入れたいと思いますので、お寄せ下さい。

最後になりましたが、貴クラブの益々のご隆盛を心からお祈り申し上げますとともに、一年間、皆様方のお力添えを戴きながら重責を果たしたいと思っていますので、ご指導、ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

